YSVN だより

－横須賀災害ボランティアネットワーク－

第　２　号

2024年１月発行

スカナマズ

代表より皆様へ新年のご挨拶（岩間道夫）

明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては希望に満ちたお正月をお迎えのことと存じます。

しかしながら、元日から大変なニュースが報じられました。能登地方を中心とした地震の発生！珠洲市、輪島市等で震度 7 を観測しています。まずは、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。この地震に対してＹＳＶＮは何ができるのか？何をするべきかを早急に検討したいと思います。

１月は「令和６年能登半島地震災害義援金の募集」に始まり、「防災を考えるつどい」等の事業が予定されています。

また、2024 年度の事業に向けた検討も始まります。会員の皆さまにおかれましては遠慮なく運営方法や事業内容等にご意見をいただけると大変有難く思います。皆さまのご理解・ご協力無しには先に進むことができません。どうぞよろしくお願いいたします。

この一年が皆さまにとって健康で幸多き年になりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

団体概要

1997年6月横須賀市社会福祉協議会よこすかボランティアセンターを事務局として開設し、設立26年を迎えました。災害時に一般ボランティアが効率よく活動できるよう備えることを第一の役割としています。コーディネーター養成講習会、寒冷期避難所宿泊体験開催の他、被災地へのボランティア派遣、募金活動等を実施してきました。

現在の会員数（令和6年1月現在）

個人会員58名

団体会員12団体

～赤い羽根共同募金活動が表彰されました～

長年にわたる募金活動の功績が認められ神奈川県知事より感謝状と記念品（置時計）を頂きました。

募金は横須賀市社会福祉協議会を通じて神奈川県共同募金会へ寄付、神奈川県内の地域福祉を推進するために役立てられます。

～2023年度の今後の活動予定～

「緊急時対応訓練（街歩き）」～YSVN 自主訓練～令和６年能登半島地震発生があり代替事業を実施

2024 年 1 月 13 日（土）10：00～14：00　横須賀市社会福祉協議会第２会議室（総合福祉会館２階）

＊「令和６年能登半島地震災害義援金募集街頭活動」京急横須賀中央駅前にて実施

「防災を考えるつどい」～被災体験から学ぶ～

2024 年 1 月 20 日　（土）　13：30～15：00　　総合福祉会館 5 階スペース視聴覚研修室

＊東日本大震災避難者（松尾弘美さん）のお話を伺い、参加者も意見交換し学び合う機会とする。

2023年度YSVNの活動

10月6日（金）
京急汐入駅前
共同募金活動を行いました。
募金額4，478円　、7名の運営委員が活動しました。

10月29日（日）
横須賀市浦賀港
横須賀市総合防災訓練が行われました
海上自衛隊　海上保安庁他団体も参加し　救助ヘリコプターや船舶による救助訓練が行われました。

YSVN,は横須賀市社会福祉協議会と共催でブースを出展。
ボランティアセンター運用システム、災害ボランティアセンター設置運営訓練等の紹介をしました。
当日、社会福祉協議会職員を含め11名が参加しました。

10月22日（日）横須賀市総合福祉会館　「災害時ボランティアコーディネーター養成講座」
横須賀市社会福祉協議会とYSVNとの共催で開催しました。
午前中は災害時ボランティアセンターの役割について、講義を実施。今回よりICT活用による講習でした。JoyLinks（株）コンサイド導入後第1回目の養成講座であり、各自スマートフォンを活用して受付・登録・マッチング・帰着を体験しました。
（講習修了者20名、スタッフ10名）

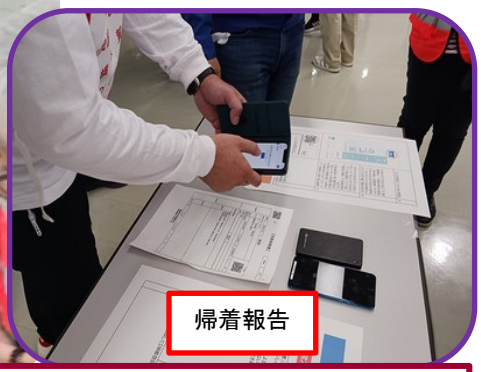
受付開始

11月19日（日）
横須賀市総合福祉会館
横須賀市社会福祉協議会の主催で<u>災害時ボランティアセンター設置運営訓練</u>が行われました。
横須賀市職員及び関係者含め55名の参加がありました。

ボランティア登録

活動先登録

活動先テェック


帰着報告

(NPO)神奈川災害ボランティアネットワーク関係（YSVNのメンバーも参加しています。）

副理事長：清水幸次　運営委員：鷹野克彦
伊藤美香子

KSVN秋田・いわきボラバス参加者

秋田1便：鷹野克彦　金森由香里
秋田2便：伊藤美香子　いわき1便：鷹野克彦

横浜総合防災訓練　：　R5・8・27
左から横浜市長・KSVN河西理事長：
清水副理事長（支援室委員長）

秋田1便：9・2発

いわき1便:10・8発

秋田2便：9・9発

長年役員として活躍されている先輩からの寄稿

災害とボランティア活動　　（武藤　明さん）

災害ボランティアについて改めて思い返しますと、阪神淡路大震災発生時、ボランティア活動の在り方が大変問題になりました。

この大災害の時にはボランティア組織が整ってなく復興には混乱と大変な苦労があったことが思い出されます。この２年後には福井県三国沖でナホトカ号の重油流出事故が発生、やはり多くのボランティアが活躍しました。

阪神淡路大震災のあった１９９５年がボランティア元年といわれ、各地の社会福祉協議会を拠点にボランティアセンターが立ち上り始め、横須賀市においても１９９７年６月に横須賀災害ボランティアネットワークが立ち上がり、社会福祉協議会ボランティアセンターに事務局が整いました。

ボランティア活動も発足当初は地震対応の復旧活動に主眼が置かれていましたが、昨今では地球温暖化の影響による台風の巨大化そして線状降水帯が発生し大雨による土砂災害、河川の氾濫が毎年発生するようになり、その復旧に対応する形に様変わりしております。

ボランティア活動も復旧には国・県・市町村などの行政と社会福祉協議会・災害ボランティアネットワークが連携し復旧に対応する流れになってきています。

最後になりますが、東日本大震災発生２か月後に宮城県陸前高田市にボランティアに入り車窓から陸前高田市全域が津波にのまれ跡形もなく瓦礫の惨状に言葉を失い、唯々見詰めていた事が思い出されます。（右上の写真は「東日本大震災宮城県岡津町魚網の整理活動」）

三浦半島においても各断層帯が走っており、３０年以内に６割の確率で地震が発生するといわれています。この備えも大事であり、発足２７年目を迎えようとしている横須賀災害ボランティアネットワークも今後に向けて次の世代を育成していく必要があると考えています。

この会報は昨年に作成したものであり、武藤さんからの「寄稿文」につきましても「能登半島地震」を想定もできないまま編集したものでございます。改めて横須賀災害ボランティアネットワークとしてお見舞いを申し上げるとともに、早急に支援活動を検討したいと思います。

１月１日に発生した令和６年能登半島地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

会費納入のお願い

1．会　費

１口 2,000 円（何口でもご加入いただけます）

2．振込先

【金融機関名】かながわ信用金庫

【支店名】　本店営業部

【口座区分】　普通

【口座番号】　1260517

【口座名義】　横須賀災害ボランティアネットワーク

代表　岩間　道夫

横須賀災害ボランティアネットワーク事務局

横須賀市社会福祉協議会

横須賀ボランティアセンター内２階

TEL046-821-1303／FAX046-824-8110

ボランティアセンターは、

平日８：１５～１７：１５に開所しております。